

名古屋市認知症コールセンター実績報告

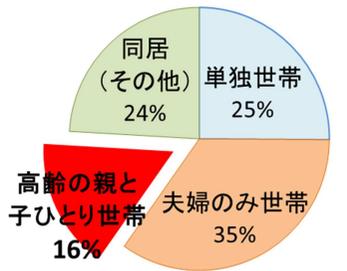
1日あたりの平均相談件数	H27年8.9月	H27年10.11月	昨年度同期(10.11月)
	6.4件	6.1件	

コールセンターの相談より… 高齢の親と子ひとりの世帯

コールセンターへの相談における、相談の対象となる方の世帯状況は右図のようになっており、「高齢の親と子ひとり世帯」は16%となっています。

国の調査(国民生活基礎調査「65歳以上の者のいる世帯数及び構成割合」)をみると、「単独世帯」「夫婦のみ世帯」の割合が急増していますが、「親と未婚の子のみの世帯」の割合も年々増加しています。

世帯状況によって、家族介護者が直面する課題も異なります。そこで、平成23年より家族の会が開催している「シングル介護者交流会」について、代表の尾之内直美さんに原稿を書いていただきました。



地域での実践より… シングル介護者交流会
認知症の人と家族の会 愛知県支部代表 尾之内直美

「私一人で、仕事をしながら母を看ているんです…」。
5.6年前から独身で親の介護を担っているというシングル介護者の交流会への参加が多くなってきました。“仕事を辞めようかどうしようかと迷っている” “相談する人もいなくて…” “結婚もしたいけど介護があるし…”、とシングルならではの悩み事があるのですが、一般の交流会では、「親の介護で困っている」という話は出来ても、「自分の将来が不安で仕方がない」と一歩踏み込んだ気持ちまではなかなか話にくく、どうしても

孤立感が強くなってしまいうえ、同じ立場の人同士で情報交換ができるようにと始めたのがシングル介護者交流会です。

一人で看ている不安は計り知れないものです。でもその気持ちや考えを共有できる仲間がいることで「自分だけではない」と心の支えができ、ネットや本では得られない生きた情報がたくさん聞けます。

初めての会は、平成23年3月6日(日)、東日本大震災の5日前に開催しました。その後隔月で開催し早いものでもうすぐ丸5年を迎えます。

あるケアマネさんが、「シングルの人に紹介するのは“あなたシングルですよ”と言っているようで、パンフレットを渡しにくい。」と言われたことがあります。実際にシングルの方に尋ねたら「私たちの行く場所があると教えてもらえることは逆に嬉しいです。」と言われました。「シングル」と限定していることで、とても垣根が低くなるようです。現在の参加者は、男女比半々で、年代は40代50代が中心です。毎回ドクターもボランティアで参加していますので、医療面でのアドバイスも聞けます。交流会の2時間半では時間が足りないので、その後、時間のある方だけ喫茶店に場を移して交流会パート2も行っています。またメーリングリストを作成し、普段はメールでのやり取りで緩やかに皆さんが繋がっています。

シングルの大きな問題の一つに仕事と介護の両立があります。参加者のほぼ半数が介護の為に仕事を辞めており、仕事を続けている方も、親の近くに職場を変った方、役職を外してもらい定時に帰れるようにしている方(でも給料減額)、いろいろと苦労をしながらそれぞれが頑張ってみえます。ぜひ支援者の皆さま、この場を広くご紹介をお願いします。

【シングル介護者交流会】認知症の人と家族の会
■偶数月の第一日曜日 13:30～16:00 ■場所：ウィンクあいち(名古屋駅前)
■申込み不要 ■問合せ先：TEL：0562-33-7048



開催の様子を紹介した新聞記事(中日新聞)